

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 計画体系コード | 1-1-2 | 事業名 | 美味しいまちげんきなまち 食育推進事業 | | | | |
| 担当 | 保健福祉局保健所健康企画課 加藤 622-5151 | | | | | | |
| 全体計画 | | | | | | | |
| 事業内容 | 育児において、「食」に関する悩みを持つ親が多くいることから、母親・子どもへの「食」応援団事業を行うとともに、食育を地域運動として広げていくために、食育サポーターの登録、食育情報の集約化、情報提供などを行う。 | | <年度別の事業内容> | | | | |
| | 1 母親・子どもへの「食」応援団事業 親子料理教室、マタニティクッキング教室 | 2 札幌市食生活指針推進事業 野菜摂取強化事業 | 【19年度】 1 母親・子どもへの「食」応援団事業 ・親子料理教室、マタニティクッキング教室 2 札幌市食生活指針推進事業 ・野菜摂取強化事業 | 【20年度】 1 母親・子どもへの「食」応援事業 ・食育サミット・健康料理フェスティバル開催、子ども新聞への情報提供 2 食に関する市民活動応援事業 ・食育サポーター登録制度、食育ホームページ開設 | 【21年度】 食に関する市民活動応援事業 | 【22年度】 食に関する市民活動応援事業 | |
| 事業内容・量・場所・規模・件数等 | 平成19年度事業内容(決算) | | 平成20年度事業内容(予算) | | | | |
| | 1 母親・子どもへの「食」応援団事業 640千円 ・美味しい朝食体験事業 委託費 (200千円) 食生活改善推進員協議会へ食育事業委託 各区区民センター等の会場で親子料理教室の開催 参加者:301名 ・マタニティクッキング教室 (440千円) 保健センター企画・会場は保健センター 開催回数62回、参加者753名 | 2 札幌市食生活指針推進事業 300千円 ・野菜摂取強化事業 ポスター350枚 (150千円) ・事業広告によるポスター作成 1,700枚 (0円) ・各区保健福祉部事業 (150千円) ・野菜販売店レシピ配布 20,000枚 (0円) | 1 母親・子どもへの「食」応援団事業 (1) 食育サミット・健康づくりフェスティバル 300名規模 ・会場費 200千円、講師謝礼22千円、 ・リーフレット代 50千円、はがき代 50千円 (2) 子ども新聞への情報提供 事業予算 0円 | 2 食に関する市民活動応援事業 (1)食育サポーター登録制度 0千円 (2)食育情報の集約化 300千円 ・食育ホームページの開設 | | | |
| 達成目標の状況 | | | | | | | |
| 項 目 | | 18年度末 (現 状) | 19年度末 (実 績) | 20年度末 (予 定) | 21年度末 (予 定) | 22年度末 (予 定) | 22年度末 (目 標) |
| 食育サポーター登録者数(累計) | | - | 0人 | 100人 | 300人 | 600人 | 600人 |
| 市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況) | | | | | | | |
| <p>市民との連携、市民参加 ・親子料理教室は、地域で活動している食のボランティア団体と連携し開催している。その地区の親子が参加しているが、地域のボランティア団体の活動を知る機会にもなっている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 野菜摂取強化事業のポスターは、教育委員会配布以外の1,700枚分は、広告事業で作成した。 [人材協力] 調理師の優れた技術提供により、「食育サミット・健康料理フェスティバル」の内容の充実が図られる。 [情報協力] 市内小学生の家庭に配布される民間事業者発行の子ども新聞(毎月10万部発行)に食育情報を提供し、食育の啓発を進める。 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり ・食育のホームページを開設し、市民・企業・団体等の食育推進活動を投稿しやすい仕組みを作る。これにより、市内の食育活動がみえやすいものになる。また、食育活動を行う人のモチベーションを保つことが可能となり、さらなる活動の輪を広げることが期待される。</p> | | | | | | | |

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

| 計画体系コード | 1-1-2 | 事業名 | 美味しいまち げんきなまち 食育推進事業 | | | |
|--|-------------------|--|----------------------|------|------|-----------------|
| 評価(成果) | | 課題 | | | | |
| <p>1 母親・子どもへの「食」応援団事業を実施し行動を起こそうとする意思宣言として、参加者300名から食生活指針宣言の提出があった。</p> <p>2 札幌市食生活指針推進事業の野菜摂取強化事業では、野菜販売店からも情報提供を行うためにレシピ原案は行政で作成し、印刷・配布は野菜組合が行う仕組みを作り、「健康さっぽろ21」推進事業のひとつである8月の野菜摂取強化事業では、野菜販売店、大型スーパーの約900店舗の販売店で野菜レシピの配布、野菜ポスターの掲示が行われ、市民の身近な場所からの情報提供ができ始めている。</p> <p>食育関係局の子ども未来局・教育委員会と連携し、各保育所・学校でも野菜摂取強化事業を取り組むよう依頼し、市内認可保育所、小・中学校から事業報告の提出を受け、事業評価を行う仕組みを作った。</p> | | <p>幼児期の食生活により味覚などの食嗜好が形成されやすいことから、子どもの時から食育を行うことが重要となっている。</p> <p>現在、乳幼児健診などで年間55,000人もの保護者が保健センターに来所している。この機会を利用して食支援を行うことは、効率的であると思われるが、限られた時間と人員の中で効果的な食支援を行っていくことが課題である。</p> | | | | |
| 今後の事業の予定・方向 | | | | | | |
| <p>食育推進計画の推進は「北海道型食生活」を推進の柱に置き関係団体・企業等と連携し推進する予定である。北海道型食生活は、米を中心とした栄養バランスの良いもので脂質の摂り過ぎを防ぐ食事である。子どもの時から脂質の少ない食生活を進め、生活習慣病の発症を予防する食生活を推進する。</p> | | | | | | |
| 事業費の推移 | | | | | | |
| 項目 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 計 |
| 計画 | 事業費 | - | - | - | - | - |
| | 財源内訳 | | | | | |
| | 国・道支出金 | | | | | |
| | 市債 その他 一般財源 | | | | | |
| 予算 | 事業費 | 1,600 | 622 | - | - | 2,222 |
| | 財源内訳 | | | | | |
| | 国・道支出金 | 800 | 311 | | | 1,111 |
| | 市債 その他 一般財源 | 0 0 800 | 0 0 311 | | | 0 0 1,111 |
| 実績 | 事業費 | 940 | - | - | - | 940 |
| | 財源内訳 | | | | | |
| | 国・道支出金 | 470 | | | | 470 |
| | 市債 その他 一般財源 | 0 0 470 | | | | 0 0 470 |
| 事業費の進捗率 | | (19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費) | | | | - |
| 計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等) | | | | | | |
| (全体) | | | | | | |
| [19年度] 広告事業により事業費を節約した。 | | | | | | |
| [20年度] | | | | | | |